

7月27日1年生活科学科の生活デザインの授業に兵庫県日本調理技能士会副会長の武田利史先生に来ていただき、出汁



の取り方と出し巻きの作り方を学びました。今回も2グループに分けて実施。実習は密を避けるため内容が限られてきますが、少しずつ前へ進めていっています。今できることをしっかりとやることで基本的なことが固まってくると思うので、一つひとつ頑張ってもらいたいと思います。

また、28日には書道部が放課後に体育館と生徒玄関の間のところでパフォーマンスを披露。3年生にとっては最後の書道パフォーマンスとなりました。今年は、新型コロナ



の関係でイベントも文化祭も中止。発表の場がない中でしたが、多くの方々の協力で、こういった発表の場を設けることができました。

「羽ばたけ 煌めく未来へ 自分らしく 前へ進め」「翔べ」と力強く書いてくれました。自分たちの今の気持ちを表現してくれたようで本当に心強く感じました。運動部の生徒たちも見に来てくれており、社高校は本当にいい学校だなと思いました。今後いろいろな形での発表の場が企画されると良いですね。お疲れ様でした。



7月30日は表彰伝達、生徒会認証式、ALT マリッサ先生の離任式が行われました。表彰伝達は2月までに行われていた大会のもので、陸上部大坂谷選手、男子バレー部尾道選手、河原選手、長谷川選手、放送部田中さんの表彰が披露されました。続いて生徒会認証式。生徒会長宮崎さんに代表で認証書を手渡しました。すでに体育祭のアンケートを取るなど動き始めて



おり、今後の活動に期待します。そして、1年間お世話になったマリッサ先生の離任式。私から県の感謝状を手渡し、生徒からは記念品と花束が贈呈されました。

マリッサ先生はとても親しみやすく丁寧に英語やアメリカ文化の紹介を授業でされ、ESS 部や英検の指導だけでなくオンライン授業にも参加していただくなど積極的に生徒たちを指導していただきました。帰国後は新型コロナ感染の落ち着きを待って大学院に進学し教員免許を取得され教育職に就かれる予定とのこと。1年間という非常に短い間でしたが、大変お世話になりました。

7月31日には大掃除と終業式を行いました。終業式は熱中症対策(マスクをしているので)のため教室で放送による私からの話だけで終了です。私からは新型コロナウイルス感染防止に関する話と映画監督の宮崎駿さんが少し前に話された「大事なことは、たいていは面倒くさい」ということを話しました。新型コロナウイルス感染防止に関しては、現状を考えると誰もがいつ感染してもおかしくない状況になってきています。一人一人の感染防止の意識を高めることで(マスク着用、手洗い、うがい等)防いでいくしかありません。まだまだ続くと思われる感染防止対策は新しい生活様式として受け入れていき習慣化していかなければならないと思います。健康チェックについても夏季休業中にもしっかりとつける習慣をつけておいてください。また、宮崎監督の話では、私たちの日常にそのまま当てはまる言葉として今一度考えようと呼びかけました。勉強にしても部活動にしても大事なことは基礎基本です。生活も同じことの繰り返しが多いですが、どこかを省略したり、楽をしたりすると身につかせませんし、成果が表れないことになります。面倒なことをしっかりとやっていくことが自らを磨き、ブレない自分を作り上げるのだと思います。そういった話をさせていただきました。夏季休業は短いですがやれることをしっかりとやって実のある休業期間にしてください。8月24日2学期スタートです。計画的な過ごし方をお願いします。